

クモばんばと ぎんのくつした

原作:仁科幸子
 (借成社「クモばんばとぎんのくつした」)
 脚本・演出:つげくわえ
 美術:大島広子
 音楽・音響:ノノヤママナコ
 照明:四方あさお
 衣装:さくま晶子
 振付:下出祐子
 宣伝美術:太田貴子
 写真:服部義安
 映像:山内崇裕



令和7年度
 児童福祉文化賞

ひなぎくさん、



早く、ちょっと目立ってもいいよね

上演のご案内

構成人数 : 3名
 上演時間 : 60分予定(休憩なし)
 準備時間 : 3時間
 片付け時間 : 1時間30分



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地
TEL.052-772-1882
 FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんこは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。

うりんこの上演
 レポートは
 こちら



嫌われ者のニュルが、
自分の価値を発見し認め、
自己肯定感を高めていく姿を描きます。

ぼくがぼくをすきになる、はじめてのきもち。

STORY

なめくじのニュルは、ほかの虫たちから「きもちわるい」といわれ、いつもひとりぼっち。あるときニュルは、嫌われ者のクモばんばと出会い、クモの糸で編んだ編み物売る「クモばんばの店」の手伝いを始めます。しかしまわりから聞こえてくるのは、「なめくじが店番なんて、そんな店行きたくない」という声。ニュルは、手伝いをやめる決意をしますが…。

MESSAGE

ニュルは、なめくじである自分を好きになれず、かたつむりに憧れてばかりいます。でも、嫌われることを恐れないクモばんばと出会い、自分の価値を発見し、認めていきます。このお芝居を観る子どもたちがニュルのように自己肯定感を高め、他者と協力し未来を切り開くことを願い、この作品をお届けします。

ウワー。なめくじだ。ベトベトがべったりついて、花がきのどくだよね。

ぼくは、いつもみんなから嫌われてるから。

ぼくにも、殻があったらなあ…。

ニュルのおかげなんだよ！糸を銀色に染める方法を見つけたんだ！

えらいわね！お店番がんばって！

「ルリタテハ」さんが、ぼくに話しかけてくれた

なめくじのぼくは、かわいいわね。

ぼくといっしょにいたら、クモばんばがもっともっと嫌われる。

いいコンビだよ。嫌われ者のクモばんばとなめくじ。

うつくしさがわかるなめくじがいたとはねえ。

今日のお礼だよ。よく似合ってるじゃないか！